

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	海の鉱物資源の科学と工学の新展開
研究代表者	加藤 泰浩（東京大学・大学院工学系研究科・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>本研究は、過去4億年にわたる太平洋の「海の鉱物資源」の時空間分布の全容の把握、環境変動・物質循環との関連の解明、探査・開発に有用な資源情報の取得を目的としている。</p> <p>これまで応募者らは、レアアースを高品位で含有する「レアアース泥」を発見し、太平洋の広い範囲に分布していることなどを明らかにしてきた。本研究では、海底鉱物資源と陸上鉱床を同じ土台に載せて海底鉱物資源の包括的な生成論を構築しようとしており、独自性がある。本研究を遂行することで国際的にも高い評価の成果につながることを期待される。</p> <p>以上のような理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。</p>